

東大物性研究所 液化室だより

◎3月31日（金）全館停電日のヘリウム供給について

すでに管理委員長名で通知があったように、3月31日（金）は午前9時から12時まで全館の停電が予定されています。

当日はヘリウムの供給日もなっていますので、この日の供給は次のように取り扱います。

3月31日の供給は午後1時からとします

なお、当日は翌週にオーバーホールを控えているため混雑が予想されますので、供給の申込はなるべく前日または前々日として下さるようお願いします。

◎ヘリウム回収配管漏洩検査と研究室立入について

最近、ヘリウムガスの回収率がとみに低下し、液化室にとって深刻な問題となっています。

液化室では回収率の低下の原因について様々な角度から検討してきましたが、残念ながらハッキリとした原因がわからないまま、今日に至っています。しかし、この事態をそのまま見過ごすわけにはいかず、当面は考えられる原因を一つ一つあげながら究明していくことにしました。今回はその第一回目として、回収配管の漏洩チェックと研究室への立入を行うことにします。

研究室の皆さんのご理解とご協力をお願いします。なお、回収率低下の問題については後日、「液化室だより」特集号を発行し、お知らせしたいと思います。

(1) 回収配管漏洩検査実施要綱

- ①検査日 4月4日（火）午前10時～6日（木）午後4時
- ②検査方法 回収配管をA₁（A棟正面玄関より東側 5階・6階を除く）、A₂（同じく正面玄関より西側 5階・6階を除く）、5・6階全体、C棟、L棟にわけ、それぞれの区分の適当な場所（研究室）に連成計をつけ、液化室側より真空ポンプで配管を引く。
- ③判定 配管を引いた後、一定時間放置し、連成計の針の上昇具合で漏洩をチェックする。
- ④研究室でやっていただくこと
 - ・回収配管の元バルブを全て閉じる。バルブが開いていると検査ができなくなるのは勿論、ストレージやクライオスタット内のヘリウムが無くなったり、実験中の装置に重大な支障を与えることにもなりかねませんので、バルブは必ず閉めて下さい。
 - ・ストレージやクライオスタットからの蒸発ヘリウムガスを大気放出する。室内に放出する場合は必ず換気すること。
 - ・検査が終了次第、大気放出していたヘリウムガスは回収配管にもどして下さい。（使用しないバルブはそのまま閉にしておいて下さい。）

検査は3日間予定していますが、期間が短縮されることもあります。なお、検査が終了したときは

所内放送と掲示（A棟とB棟の掲示板）にてお知らせします。

漏洩箇所があった場合は個別に対処しますが、検査中、または検査後に異常がありましたら液化室までご連絡下さい。

ご注意→→→検査中に研究室が不在の場合、マスターキーで無断で室内に入ることがありますのであらかじめご承知おき下さい。

（２）研究室立入検査について

この立入検査は、日頃研究室で行っているトランスファの仕方や、回収の方法等の実情を把握するとともに、回収にあたって困っていることや改善してほしい点などがあるかどうかを知るために行うものです。対象は原則としてヘリウムを使っている全ての研究室を考えています。

立入検査は液化室職員が行いますが、立入にあたっては実験に支障のないように伺うつもりですので、ご協力をお願いします。

実施日 4月4日～6日

◎4月からのヘリウム申込伝票締切時間変更にご注意下さい

1月26日付「液化室だより」特集号でもお知らせしましたが、この4月からヘリウムの供給曜日を変更します。

また、これにあわせてヘリウム申込伝票の提出締切時間が次のように繰り上がりますのでご注意ください。

（現行 前週金曜日午後3時）→ 改正 前週金曜日午前12時

申込伝票の提出は締切時間を厳守して下さいをお願いします。